

令和6年度 学校経営方針

i 学校教育目標

「心豊かで、主体的に行動できる生徒の育成」

ii 重点目標

- ・確かな学力の育成
- ・思いやる心の育成
- ・健康・体力の向上
- ・地域で育ち、地域に誇りをもつ生徒の育成

iii めざす生徒像、教師像、学校像

○生徒像

- ・共に学び共に育つ生徒
- ・思いやりがあり、しなやかでたくましい心をもつ生徒
- ・健康でたくましい生徒

○教師像

- ・共に学び共に成長する教師
- ・思いやりあふれる教師
- ・心身共に健康な教師

○学校像

- ・活力ある美しい学校
- ・安全・安心な学校
- ・信頼され、期待される学校

iv 指導の重点

1. 「個別最適な学び」と「協働的な学び」を一体的に充実し、「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善による確かな学力の育成
 - ① 基礎・基本の定着と学ぶことの楽しさを実感できる授業づくりに努める。
 - ② 子供主体の授業へと授業観の転換を図り、自ら課題を見付け、解決に向かう力の育成に努める。
 - ③ 「見通しと振り返り」「自力解決」「学び合い」等、『甲府スタイル』の授業を実践する。
 - ④ 1人1台端末等の ICT 環境を最大限に生かし、子供を主体とした授業づくりに取り組む。
 - ⑤ e ライブラリ、自主学習ノートの取組を通して、家庭学習の習慣化を図る。
 - ⑥ 学力及び学習状況の自己把握と粘り強く取り組む姿勢を育成する。
2. 生きる力と思い遣る心を育む生徒支援の充実
 - ① JRCの態度目標である「気づき、考え、実行する」のもと、合唱・応援・演劇等の継承と自発的・自治的な生徒会活動の推進を支援する。
 - ② 自他の大切さを認める人権感覚を涵養し、集団活動を通して、認め合い、高め合う学級集団づくりに努める。
 - ③ あいさつ運動、朝学習、朝読書、美化活動等の充実を図り、活力ある美しい学校を目指す。
 - ④ 「あゆみノート」等を活用した生徒理解の推進を図る。
 - ⑤ 「学校いじめ防止基本方針」に則りいじめの未然防止、早期発見に努める。
 - ⑥ 家庭、関係機関(SC,SSW)と連携し不登校の未然防止に努める
 - ⑦ SNS やインターネットの使用モラル、誤った使い方により人を傷つける危険性について理解させる。
 - ⑧ 特別の教科道徳の趣旨を踏まえた授業づくりと実践に努める。
 - ⑨ ヤングケアラーの早期発見と生徒支援の充実を図る

3. 自他を尊重し、命を大切にする健康・安全教育の充実

- ① 基本的な生活習慣の確立と生涯を通じて健康で安全な生活を送る実践力を育てる。
- ② 運動、朝食摂取、十分な睡眠などの望ましい生活習慣を定着させ、健康な体作りと体力の向上を図る。
- ③ ユニバーサルデザインに立脚したインクルーシブ教育の推進に努める。
- ④ 実効性のある防災訓練を計画的に実施すると共に、安全教育を充実させ危険回避能力を高める指導をする。
- ⑤ 「SOS の出し方に関する教育」「自殺予防教育」「がん教育」についての学習を推進する。

4. 「生きる力」を育む教育課程の編成と実施

- ① 人間関係形成能力を高める学級・学年集団づくりに努める
- ② 職業に関する学習を通してキャリア教育の充実を図る
- ③ 生徒の特性や地域、学校の実態を考慮した教育課程の編成と実施
- ④ 各教科等の時間の適切な確保と行事予定の計画的な配置
- ⑤ PDCAサイクルの評価による成果と課題を踏まえた社会に開かれた教育課程の編成と実施。

5. 家庭・地域・学区内小学校・関係機関と連携し、信頼され、期待される学校づくりに取り組む

- ① 保護者や地域との連携を深め、学校運営協議会の効果的な実施に努める
- ② 各種通信やHP等での積極的な情報発信と学校開放による開かれた学校づくりに努める。
- ③ 小中合同研究会等の開催など南中学区小学校との連携の推進による、円滑な小中学校との接続と共通した課題の解決を図る
- ④ 学区小中学校で共通した育成したい児童生徒像である「進んであいさつする子」の育成に努める。